

【計画策定支援】デジタル技術導入に向けた支援の内容

支援先団体の課題の整理状況に応じて、以下の2つの支援内容としています。

	A コース (地域課題整理及び ソリューション検討支援)	B コース (ソリューション実装計画の 策定支援)
支援対象	地域課題の洗い出しから支援を希望する団体	地域課題の解決策は明確化されており、具体的な実装計画書策定の知見・ノウハウの支援を希望する団体
支援内容	解決すべき地域課題の調査・分析・整理から、デジタル技術を活用した当該地域課題の解決策の検討・立案までを伴走支援します。	支援先団体内における予算要求や国の補助金・交付金への申請・提案等への活用も念頭に置いた、デジタル技術を活用して地域課題の解決を図るためのソリューション実装計画の策定を伴走支援します。
支援メニュー例	① 地域課題整理及びソリューション検討を進める上での組織体制構築等の支援 ② 地域課題の抽出・整理 ③ 地域課題の優先度設定 ④ 他地域における関連する好事例の紹介 ⑤ デジタル技術の活用等による課題解決の方向性の検討 ⑥ 実行スケジュール策定 ⑦ 伴走支援の振り返り・支援後の動きの提示	① 地域のおかれた環境を踏まえた要件の検討 ② ネットワーク構成・機器等の要件の検討 ③ 導入・運用コストや費用対効果の検討 ④ 事業者とのマッチング ⑤ DX 実装・自走化に向けた推進組織・体制の検討 ⑥ 地域のステークホルダーとの連携体制の検討 ⑦ 運用モデルや資金計画、マネタイズの仕組みの検討 ⑧ 実証・実装スケジュール策定